



3回目の挑戦で見事受賞した竹吉さん(写真右)



1



2

1. 竹吉さんが勤務する市中央図書館
2. 図書館司書として働いています

図書館司書・竹吉さんが 江戸川乱歩賞受賞

5月13日、市中央図書館の嘱託図書司書の竹吉優輔さんが書いた小説「ブー ज्याム狩り」が「第59回江戸川乱歩賞」(日本推理作家協会主催)を受賞しました。

同賞はミステリー・探偵小説を奨励する文学賞として江戸川乱歩の寄付を基金として創設されたもので、今年は応募397作品の中から作家の選考を経て、竹吉さんが見事選ばれました。

図書館司書としての勤務後、執筆活動をしているという竹吉さん。「市民の方に探している本を見つけてあげて、喜んでもらえることがうれしいです。職場の先輩に負けないよう、頑張っています」とやりがい語る一方で、「小さいころから書くことが好きで小説家になりたいと思っていました。良き司書であると同時に、読者が時間を忘れて読んでくれるような、また、元氣付けられる作品を書く作家になりたいです」と今後の抱負を語りました。

土浦ケーブルテレビと 災害協定を締結

5月15日、牛久市と土浦ケーブルテレビ株式会社(大倉一仁代表取締役社長)が「災害時における放送等に関する協定」の締結を行いました。

この協定は、市内で災害が発生した場合または発生する恐れがある場合に、市内の情報を土浦ケーブルテレビのJ:COMチャンネル(11チャンネル)内のテロップ表示などで放送し、市民に迅速かつ正確に情報を伝えることを目的にしたものです。池辺勝幸市長は「災害時はさまざまな情報手段を確保して市民の方に正確な情報を提供していきたい」と話しました。

交通防災課 ☎内線1681



土浦ケーブルテレビ(株)の大倉社長(写真左)と災害協定を交わしました

牛久ゆかりの画聖・ 小川芋銭の全作品集刊行

市では、牛久ゆかりの画聖・小川芋銭の全作品集を刊行しました。

この「小川芋銭全作品集」は、木版画を主体とした「挿絵編」と肉筆画を主体とした「本絵編」の2分冊になります。「挿絵編」の収録作品点数は、1900点(503ページ)、「本絵編」の収録作品点数は、1020点(437ページ)。作成年数は1000部、販売価格は2万1000円(消費税込み)です。

作品集の内容の詳細については、小川芋銭研究センター(☎828・7985)までお問い合わせします。また、販売窓口は市役所第3分庁舎の生涯学習課と、市中央生涯学習センター(☎871・2301)、かつばの里生涯学習センター(☎871・2302)です。なお、販売窓口は順次拡大予定です。

生涯学習課 ☎内線3032



小川芋銭全作品集の「本絵編」

第24回うしく・鯉まつり

空を舞う鯉のぼりに夢のせて



1. うしく・鯉まつり会場 2. 魚のつかみどりで「やった! 捕まえたよ」 3. 「消防服、重くて暑いなあ」

5月3日、牛久市役所敷地内と市役所西側にある近隣公園を会場に「第24回うしく・鯉まつり」が開催され、晴れ渡った青空の下、約1万3000人が訪れました。

このまつりは、昔ながらの遊びなどを通して、家族などの触れ合いを深め、心豊かな青少年を育てることを目的に開催しています。

会場では、昔ながらの遊びのコマ回しや竹ぼっくりレース、輪投げ、水中コイン入れなどを開催。また、人気の「魚のつかみどり」に

は1匹でも多く魚を捕まえようと、子どもたちが大勢集まりました。

東京都から牛久の親戚宅へ遊びに来ていた6歳の男の子は「楽しい。今年は10匹捕まえた」と服をぬらしながらも、笑顔で話しました。この他にも、牛久消防署によるはしご車搭乗体験には多くの親子連れなどが訪れ、高さ40メートルまで伸びるはしご車に消防士と搭乗したり、消防服を試着するなど休日のひとつを家族や友人と楽しみました。

ひたち野うしく小学校が 文部科学大臣表彰受賞

5月10日、ひたち野うしく小学校が文部科学大臣表彰における「創意工夫成功労学校賞」を受賞し、報告のため市役所を訪問しました。

同小学校では、「科学研究作品展」や「発明工夫展」に多くの児童が出品し、優秀賞などを多数受賞。また、ビオトープ作りや夏休みに理科室を開放し、児童の自由研究をサポートするなど、児童の科学や環境への興味を引き出す取り組みが評価され、受賞につながりました。中島和枝校長は「家庭と学校の連携がうまくいっていることが受賞につながったのではないかと喜びを語りました。」



ひたち野うしく小学校が受賞を報告

「うしく郷土こども かるた」が完成



かるたを渡す「うしく郷土かるた制作チーム」の森孝雄委員長(写真右)



牛久の歴史や文化、自然などを「かるた」として表し、楽しみながら郷土愛を育むことを目的に、うしく郷土かるた制作チームが、「うしく郷土こどもかるた」を制作しました。

この「かるた」は、同チームが市内小学校3・4年生を対象に読み札と絵札を募集し、3月に完成させたもので、読み札、絵札には市内の歴史的建物や自然を表した文章や絵が書かれています。今後は、子どもから大人まで親しんでもらえるよう、市内小学校や児童クラブ、子供会などへ配布される予定です。

うしく現代美術展出品作家の作品展示中

市中央生涯学習センターロータリーに、4月から新しく設置された作品を皆さんはもうご覧になりましたか？市では、「うしく現代美術展」出品作家の作品を市民の皆さんに見ていただくとうと、平成24年度から「公共施設展示事業」として屋外での作品展示を実施しています。

今年3月までのサトル・タカダ氏の作品に替わり、4月から9月までの予定で中山庄太郎氏「木気は宇宙へ」の展示が始まりました。作品の説明書きに「陰陽五行説は木気を春の気としています。春の気『水気・生命』は螺旋運動とな



中山庄太郎氏の「木気は宇宙へ」

り、宇宙を目指します」とあるように、広場の空を突いて立つ立体作品は、太陽の光の当たり具合で刻々と様子をえていき、あたたかも銀色の生き物が地中から天空に向かつて立ち昇るかのようです。また、夜間は建物のライトに照らされて緑の光を放ち、昼間とは別の表情を見せています。

また、市中央図書館脇にも村上九十九氏の作品「神々の椅子・VIII・再生の杖」を展示しています。こちらは来年3月までですので、ぜひ併せてご覧ください。

問 生涯学習課 ☎871・2301



村上九十九氏の「神々の椅子・VIII・再生の杖」

姉妹都市・オレンジ市の高校生が来日



雲魚亭などを見学したカノボラス高校生

4月20日から5月4日、姉妹都市であるオーストラリア・オレンジ市のカノボラス高校から6人（うち引率教諭1人）が来日しました。この取り組みは、市内の高校生との交流プログラムとして実施しているもので、4月24日には池辺市長を表敬訪問しました。一行は東洋大学附属牛久高等学校の生徒宅にホームステイなどとして日本の生活を体験するとともに、牛久大仏、雲魚亭、筑波山、広島などを訪問し、たくさん思い出とともに帰国しました。

リトルリーグ春季関東選手権大会出場

4月20日、「リトルリーグ春季関東選手権大会」が関東4連盟（東京、北関東、神奈川、東関東）から勝ち抜いた10チームにより、神奈川県逗子市の池子ヒルズ球場で開催されました。

「ひたちなかリーグ」とともに東関東連盟代表として出場した「牛久リーグ」は、「逗子リーグ」と対戦。幸先良い試合展開でしたが、終盤逆転され惜敗しました。メンバーは夢の全国優勝の栄冠に向かって改めて頑張ることを誓いました。

問 津協 ☎872・7376



健闘した「牛久リーグ」のメンバー(写真中央)